



ドクター秘書13人をはじめ、優秀なスタッフが医師をサポートする



放射線技師が最先端機器による検査を行う



精神科と内科の医師によるチーム医療を推進

トワーム小江戸病院 夏祭り
7月21日(土) 開催!!

民謡あり、神輿パフォーマンスあり、和太鼓あり、まぐろ解体ショーありと、多彩なイベントを用意しています。B級グルメ優勝の「北本トマトカレー」も出店。クライマックスは622発の花火をお楽しみください。



食事療法、ドッグセラピーなどによる積極的な予防や治療を行っている

DATA

医療法人社団 松弘会 **トワーム小江戸病院**

〒350-0848
埼玉県川越市下老袋490-9
TEL.049-222-8111 (代)
FAX.049-222-8128

診療科目◎精神科、内科、整形外科、外科、脳神経外科、リハビリテーション科

病床数◎200床

入院、外来予約・ご相談は
TEL.049-222-8123
(インフォメーションセンター)

椎体形成・ワークステーションの動画がみられます

人工骨頭置換術、手術動画、当日歩行の動画が見られます

「当日歩行可能な済陽式人工骨頭置換術の動画をインターネットで流しています。あっという間に世界各国からのアクセスが2000件を超え、病院からの問い合わせもありました。この動画を観て、応募してきた看護師もいます」

PCアドバイザー
甲田 芳武 (こうだ・よしただ)

QRコード対応携帯をご利用の方はコードをカメラで読み取りアクセスしてください
<http://www.towarm.com/coedo>

技師が一緒になって診断します。診断の精度は日本一だと自負しています。

田中 脳ドックで動脈瘤や脳血管障害、あるいは頸動脈の狭窄などが見つかれば、外科的、内科的治療を行うことができます。疾患が深刻になる前に予防できるわけです。

話をよく聞くことが大事です。たとえ相手が間違っていたことをいっても、ペースを合わせて相手が落ち着くよう心がけています。

村上 認知症の方は、なかなか「こうだ」と訴えないので、こちらから疾患、症状を探していくようにしています。なかには背中にもじんましんが出たり、足の血行障害があったり

するため、時間がある限り全体を総合的に診るよう心がけています。

鈴木 認知症の方は、昭和の時代を支えてきた方たちです。その人その人の人生があり、尊敬の念を持って接するようになっています。小児科があるように、「老人科」として総合診断、総合治療を行っていきたいと思っています。

済陽 認知症は不治の病ではないといわれていますが、本当にそう思っています。早期に発見すれば、改善する方がたくさんいらっしゃいます。「大切な家族だからこそトワーム小江戸病院に安心して任せられ、この病院に入院してよかった」。そうした雰囲気づくりを常に目指しています。



鈴木 貴勝 副院長
すずき・よしかつ ●1994年、昭和大学医学部卒業。同年、昭和大学病院入局。96年、埼玉森林病院。98年、森林公園クリニック院長。2007年、埼玉森林病院診療部長。08年、トワーム小江戸病院に勤務し、医局長。10年、副院長。精神保健指定医



村上 剛久 医師
むらかみ・たけひさ ●1978年、岩手医科大学医学部卒業。82年、同大学大学院卒業。92年、帝京大学附属浦口病院第4内科助手。2001年、岩槻脳神経外科病院内科部長。10年、丸山記念総合病院内科部長を経て、11年、トワーム小江戸病院勤務。日本内科学会認定総合内科専門医



古谷 隆 医師
ふるや・たかし ●1983年、北里大学医学部卒業。2012年2月、トワーム小江戸病院に勤務。医学博士。日本内科学会認定総合内科専門医

脳ドックを開始 最先端機器で高精度診断

済陽 今年4月から脳ドックを開始し、6月は約30件を行いました。画像診断では4〜5人の医師と放射線

済陽 トワーム小江戸病院は、「自然に囲まれた広々とした楽園」をイメージして2008年6月に開院した認知症専門病院です。グループである三愛病院や、近隣の埼玉医科大学総合医療センターなどの医療連

済陽 2010年12月にはMRI 3・0テスラを導入しました。急性期の脳梗塞などが発見できるディフュージョン(拡散強調画像)を高

古谷 骨折だけでなく、認知症の患者さんは高齢の方が多いため、さまざまな合併症を持っています。当院で行えるのが強みの一つです。

2008年6月に開院 認知症専門病院として



済陽 輝久 理事長
わたばやし・てるひさ ●1975年、東邦大学医学部卒業。85年、三愛病院設立。97年、医療法人社団松弘会理事長

携により身体疾患の診療を手がけるとともに、最先端機器を使って認知症および合併症の早期発見や早期治療に加えて予防を行って成果を上げています。

鈴木 なかでも血管性認知症について、改善する方も少なくありません。食事療法や音楽療法、ドッグセラピー、カラオケなど、総合的療法が効果的です。脳に適度な刺激を与えることで、脳の血流を高め、脳が活性化します。

田中 MRIやCTなど、最新機器による早期診断が早期治療につながる。高精度の診断により、治せる疾患があれば治すということを中心に心がけています。

鈴木 当院には手術室が完備されています。精神科や内科中心の病院としては珍しいと思います。認知症の方は、しっかり看護や介護をしていても転倒して骨折したりする場合がありますが、そうした治療を院内で行えるのが強みの一つです。



自治医科大学附属さいたま医療センター脳神経外科
田中 裕一 医師
たなか・ゆういち ●1980年、自治医科大学卒業。トワーム小江戸病院スーパーアドバイザー。日本脳神経外科学会評議員、日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、日本救急医学会認定救急科専門医

最先端機器で認知症の早期診断と早期治療を実現 今年4月から脳ドックも開始した認知症専門病院 医療法人社団松弘会 トワーム小江戸病院